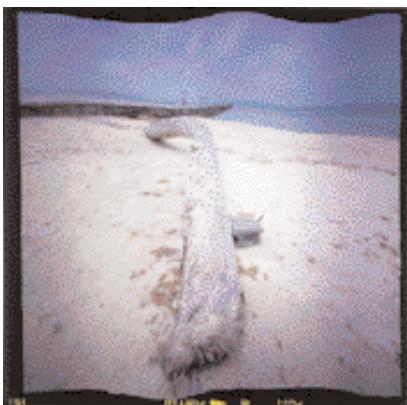


## ファースト REVIEW



スペック上でZero2000の針穴直径は0.2mmでF138相当。焦点距離25mmの対角画角で約130°となっているが、実物を見る焦点距離はもう少し長いようだ。何にせよ超広角の画像を得ることができる。手前から奥まで被写界深度が深いのがピンホール写真の特長だ。露光時間4秒・三脚・ケーブルレリーズ使用・ファイナルティアSP



フィルム装填で手抜きすると最初の数枚はフィルムが波うって画像が歪むことがある。しかし、これはこれで中々味があると言えるかも。露光時間4秒・三脚・ケーブルレリーズ使用・ファイナルティアSP

## 豊富なラインナップの木製ピンホールカメラ

【宇佐見 健】

### Zero Image 木製ピンホールカメラ Zero2000 デラックス

●形式=木製ピンホールカメラ ●材質=チーク材、真鍮 ●ピンホール径=0.2mm φ ●イメージサークル=87.5mm ●焦点距離=25mm ●絞り=F138 ●フィルムフォーマット=プローニー120タイプ(他に35mm判フィルム使用タイプ有り) ●三脚ネジ穴=JIS準拠 ●水準器=有り ●大きさ・重量=13.3×8.3×4.5cm・約250g ●保証期間=1年 ●価格=31,500円(135ベーシック:16,800円、135デラックス:31,500円、2000ベーシック:16,800円、6×9ベーシック:29,400円、6×9デラックス:39,900円、4×5デラックス:39,900円ほか有り) ●取り扱い=エー・パワー www.doctor-and.com (2005年4月21日国内取り扱い開始)



デラックスは、ケーブルレリーズを使うとシャッターが上方にはねあがされる。または横方向へ指でスライドして露光する2通りが可能だ



前列がZero135、後列が6×6cm判のZero2000で左側がケーブルレリーズアダプターと水準器を装備した各デラックス



Zero Image社は木製ピンホールカメラを手掛ける香港のメー カー。ラインナップは35ミリ、120ミリ、4×5インチまでに対応する5機種11モデルと多岐にわたり、ピンホール写真愛好家の間ではちょっととした人気のカメラである。今まで個人輸入するしかなかつたが、株式会社エー・パワーが日本総代理店となり販売を開始した。サポートも国

120ミリのフィルム仕様のカメラで、120ミリ機種11モデルと多岐にわたり、ピンホール写真愛好家の間ではちょっととした人気のカメラである。今まで個人輸入するしかなかつたが、株式会社エー・パワーが日本総代理店となり販売を開始した。サポートも国

内で受けられるし、日本語の説明書も付属するので、英語が苦手で足踏みをしていた人にも手軽に楽しめるようになった。今回試写したのは6×6cm判専用のZero2000デラックス。120フィルム仕様のカメラは他にも6×4.5、6×9の各画面サイズを内部デバイダーで切り替えるZero69や、更に6×12のパノラマ撮影可能なZero612Fという上位機種もあるが、6×6判に限定しているこのZero2000がシリ

子の中では最もシンプルで扱いやすいと言える。因みに35ミリ仕様のZero135は、フィルム巻き戻し機能がないため、巻き取り側にもバトローネを装着するダブルマガジンにしなければならないのと、正確な巻上げ操作にもある程度の慣れが必要だ。

各機種のデラックスタイプには水準器とケーブルレリーズアダプターが装備され、水平出し簡単で、カメラブレを起こしにくく。ただしシャッター部は簡単に動いてしまうので、携行時にはシャッターが不注意に開かないようテープや輪ゴムで仮止めするほうが良いだろう。フィルムの装填さえマスターしてしまえば、被写体に向けてシャッターを開くだけと撮影はいたって簡単なZero2000でのピンホール撮影。露光時間の決定も、一目で判る換算タ イヤルのおかげで楽に行える。街中の撮影ではレトロなスタイルが通行人の注目を浴びることも多い。チーク材と真鍮パツの組合せは美しく、飾つておくだけでも楽しいカメラだ

☆Zero135と2000を読者プレゼントいたします。詳細はP329をご参照下さい☆